

薬効・薬価リスト平成26年版 追補
(平成26年4月17日告示分)

内 用 薬

先	アデムバス錠 0.5mg (バイエル)	0.5mg1錠 劇	673.40 2190034F1027 / 622301901
先	" 錠 1.0mg	1mg1錠 劇	1,346.80 2190034F2023 / 622302001
先	" 錠 2.5mg	2.5mg1錠 劇	3,366.90 2190034F3020 / 622302101

2190i 可溶性グアニル酸シクラーゼ (sGC) 刺激剤 リオシグアト

適応 外科的治療不適応又は外科的治療後に残存・再発した慢性血栓性肺高血圧症。

用法〔調節期〕1回1mg,1日3回経口投与から開始。2週間継続して収縮期血圧が95mmHg以上で低血圧症状を示さない場合,2週間間隔で1回0.5mgずつ増量。収縮期血圧が95mmHg未満で低血圧症状を示さない場合は現行の用量を維持し,低血圧症状を示す場合は1回0.5mgずつ減量。〔維持期〕調節期に決定した用量を維持。低血圧症状を示すなど忍容性がない場合,1回0.5mgずつ減量。以上,いずれも最高量1回2.5mg,1日3回まで。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人 重度の肝機能障害(Child-Pugh分類C) 重度の腎機能障害(クレアチニン・クリアランス15mL/min未満)・透析中 硝酸剤・一酸化窒素供与剤を投与中 ホスホジエステラーゼ(PDE)5阻害剤を投与中 アゾール系抗真菌剤,HIVプロテアーゼ阻害剤を投与中 **併禁** 硝酸剤・NO供与剤(ニトログリセリン,亜硝酸アミル,硝酸イソソルビド等) PDE5阻害剤(シルデナフィルクエン酸塩 バイアグラ,レバチオ,タダラフィル シアリス,アドシルカ,バルデナフィル塩酸塩水和物 レビトラ) アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール イトリゾール,ボリコナゾール プイフェンド),HIVプロテアーゼ阻害剤(リトナビル ノーピア,カレトラ,インジナビル クリキシパン,アタザナビル レイアタツツ,サキナビル インビラーゼ)

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

先	アレグラドライシロップ5% (サノフィ)	5%1g	130.90 4490023R2027 / 622339601
---	-------------------------	------	------------------------------------

4490 アレルギー性疾患治療剤 フェキソフェナジン塩酸塩

適応 アレルギー性鼻炎,蕁麻疹,皮膚疾患(湿疹・皮膚炎,皮膚そう痒症,アトピー性皮膚炎)に伴うそう痒。

用法 成人1回60mg(DS:1.2g),1日2回経口投与。症状により適宜増減。小児12歳以上1回60mg,7~12歳未満1回30mg(同0.6g),1日2回経口投与。症状により適宜増減。2~7歳未満1回30mg,6ヶ月~2歳未満1回15mg(同0.3g),1日2回経口投与。以上,用時懸濁。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

先	コンサータ錠 36mg (ヤンセン)	36mg1錠 劇向	402.60 1179009G3025 / 622339701
---	-----------------------	-----------	------------------------------------

1179i 中枢神経刺激剤 メチルフェニデート塩酸塩

適応 注意欠陥/多動性障害(AD/HD)。

用法 18歳未満 初回18mg,維持量18~45mgとし,1日1回朝経口投与。1日54mgまで。18歳以上 初回18mg,1日1回朝経口投与。1日72mgまで。以上,増量が必要な場合,1週間以上の間隔をあけて1日9mg又は18mg,増量。症状により適宜増減。

注)本剤投与前に他のメチルフェニデート塩酸塩製剤を服用している場合,初回量は18歳未満18~45mg,18歳以上18~72mgの範囲で決定。ただし本剤又は他のメチルフェニデート塩酸塩製剤の服用を1ヶ月以上休薬後,本剤を服用する場合は初回量18mg。

禁忌 過度の不安,緊張,興奮性のある者 緑内障 甲状腺機能亢進 不整頻拍,狭心症 本剤(成分)に過敏症の既往歴 運動性チック・Tourette 症候群又はその既往歴・家族歴 重症うつ病 褐色細胞腫 モノアミンオキシダーゼ(MAO)阻害剤を投与中又は投与中止後14日以内 **併禁** MAO阻害剤(セレギリン エフビー)

保険料 本製剤は既収載品と有効成分が同一であり,今般既収載品に成人の用法・用量が追加されたことに伴い,成人に適した規格として承認された規格追加医薬品であることから,新医薬品に係る14日間の投薬期間制限は適用されない。ただし本剤は既収載品と同様に1回30日分を限度として投与又は投薬される(平26.4.17保医発0417第4号)

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:30日まで)

先	ザイザルシロップ0.05% (GSK)	0.05%1mL	19.60 4490028Q1028 / 622308201
---	------------------------	----------	-----------------------------------

4490 持続性選択H₁受容体拮抗・アレルギー性疾患治療剤 レボセチリジン塩酸塩

適応 成人 アレルギー性鼻炎。蕁麻疹,湿疹・皮膚炎,痒疹,皮膚そう痒症。小児 アレルギー性鼻炎。蕁麻疹,皮膚疾患(湿疹・皮膚炎,皮膚そう痒症)に伴うそう痒。

用法 成人1日1回5mg(10mL),就寝前経口投与。年齢・症状により適宜増減。1日最高量10mg(20mL)。小児6ヶ月~1歳未満1日1回1.25mg(2.5mL),経口投与。1~7歳未満1回1.25mg,7~15歳未満1回2.5mg(5mL),1日2回朝食後及び就寝前経口投与。

禁忌 本剤(成分)・ピペラジン誘導体(セチリジン,ヒドロキシジンを含む)に過敏症の既往歴 重度の腎障害(クレアチニンクリアランス10mL/min未満)

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

(次頁に続く)

薬効・薬価リスト平成26年版 追補
(平成26年4月17日告示分)

先	ザルテア錠 2.5mg (リリー=日本新薬)	2.5mg1錠	118.30
		2590016F1020 / 622306401	
先	" 錠 5mg	5mg1錠	230.60
		2590016F2027 / 622306501	

2590i 前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤 タダラフィル

適応 前立腺肥大症に伴う排尿障害。

用法 1日1回5mg,経口投与。

注)CYP3A4を強く阻害する薬剤を投与中の患者:1日1回2.5mgから開始し,状態を観察しながら適宜5mgに増量。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 硝酸剤・一酸化窒素供与剤を投与中 次に掲げる心血管系障害を有する者:1)不安定狭心症 2)心不全(NYHA分類 度以上) 3)コントロール不良の不整脈,低血圧(血圧<90/50mmHg)又はコントロール不良の高血圧(安静時血圧>170/100mmHg) 4)心筋梗塞の既往歴が最近3ヶ月以内 5)脳梗塞・脳出血の既往歴が最近6ヶ月 重度の腎障害 重度の肝障害 **併禁** 硝酸剤・NO 供与剤(ニトログリセリン,亜硝酸アミル,硝酸イソソルビド等)

保険 適切な検査により前立腺肥大症と診断された場合に限り算定。レセプトの記載に当たっては,尿流測定検査,残尿検査,前立腺超音波検査等の診断に用いた主な検査について実施年月日を摘要欄に記入(平26.4.17保医発0417第4号)。

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

先	ジオトリフ錠 20mg (日本ベーリンガー)	20mg1錠 劇	5,840.70
		4291030F1020 / 622307101	
先	" 錠 30mg	30mg1錠 劇	8,547.40
		4291030F2027 / 622307201	
先	" 錠 40mg	40mg1錠 劇	11,198.50
		4291030F3023 / 622307301	
先	" 錠 50mg	50mg1錠 劇	12,760.00
		4291030F4020 / 622307401	

4291 抗悪性腫瘍剤 アファチニブマレイン酸塩

適応 EGFR 遺伝子変異陽性の手術不能又は再発非小細胞肺癌。

用法 1日1回40mg,空腹時経口投与。状態により適宜増減。1日1回50mgまで増量可。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

先	スーグラ錠 25mg (アステラス)	25mg1錠	136.50
		3969018F1022 / 622306601	
先	" 錠 50mg	50mg1錠	205.50
		3969018F2029 / 622306701	

3969i 2型糖尿病治療剤 イブラグリフロジン L-プロリン

適応 2型糖尿病。

用法 1日1回50mg,朝食前又は後経口投与。効果不十分時は経過を十分に観察しながら1日1回100mgまで増量可。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 重症ケトーシス,糖尿病性昏睡または前昏睡 重症感染症,手術前後,重篤な外傷

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

先	テビケイ錠 50mg (ヴィーパヘルスケア=GSK)	50mg1錠 劇	3,262.60
		6250038F1023 / 622336201	

6250i HIV インテグラーゼ阻害剤 ドルテグラビルナトリウム

適応 HIV 感染症。

用法 必ず他の抗 HIV 薬と併用。食事の有無にかかわらず投与可。〔未治療患者・インテグラーゼ阻害薬以外の抗 HIV 薬による治療経験のある患者〕成人・12歳以上及び体重40kg以上の小児は1日1回50mg,経口投与。〔インテグラーゼ阻害薬に対する耐性を有する患者〕成人1回50mg,1日2回経口投与。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴

保険 診療報酬明細書等の取扱いにおいては,当該患者の秘密の保護に十分配慮する(平26.4.17保医発0417第4号)。(薬価基準収載日:平26.4.17)

(掲示事項等告示)当品目は新医薬品の処方日数制限対象外。

先	トピナ細粒 10% (協和発酵キリン)	10%1g	191.90
		1139008C1020 / 622335301	

1139i 抗てんかん剤 トピラマート

適応 他の抗てんかん薬で効果不十分なてんかん患者の部分発作(二次性全般化発作を含む)に対する抗てんかん薬との併用療法。

用法 成人1回50mg,1日1~2回経口投与より開始。以後,1週間以上の間隔をあけて漸増,維持量1日200~400mg,2回分割経口投与。1日最高600mg。小児2歳以上の小児1日1mg/kgより開始,2週間以上の間隔をあけて1日2mg/kgに増量,2回分割経口投与。以後,2週間以上の間隔をあけて1日2mg/kg以下ずつ漸増,維持量1日6mg/kg,2回分割経口投与。1日最高9mg/kg又は600mgのいずれか少ない量まで。以上,症状により適宜増減。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴

保険 本製剤は既収載品と有効成分が同一であり,今般既収載品に小児における用法・用量が追加されたことに伴い,小児等が服用しやすい細粒剤として承認された剤形追加医薬品であることから,新医薬品に係る14日間の投薬期間制限は適用されない(平26.4.17保医発0417第4号)。(薬価基準収載日:平26.4.17)

先	リオナ錠 250mg (日本たばこ=鳥居)	250mg1錠	99.80
		2190033F1022 / 622306901	

2190i 高リン血症治療剤 クエン酸第二鉄水和物

適応 慢性腎臓病患者における高リン血症の改善。

用法 開始量1回500mg,1日3回食直後経口投与。以後,症状・血清リン濃度の程度により適宜増減。1日最高6,000mg。注)増量する場合,増量幅を1日1,500mgまでとし,1週間以上の間隔をあけて行う。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴

(薬価基準収載日:平26.4.17,投与:14日まで)

(次頁に続く)

薬効・薬価リスト平成 26 年版 追補
(平成 26 年 4 月 17 日告示分)

注 射 薬

先	アドセトリス	50mg1 瓶 劇	465,701
	点滴静注用 50mg (武田)	4291425D1021 / 622335601	

4291 抗悪性腫瘍剤 プレンツキシマブ ベドチン(遺伝子組換え)

適応 再発又は難治性の CD30 陽性の次の疾患 / ホジキンリンパ腫,未分化大細胞リンパ腫。

用法 3 週間に 1 回 1.8mg/kg,点滴静注。状態により適宜減量。

注) 1 瓶を 生理食塩液 10.5mL で溶解後,必要量を 0.4 ~ 1.2mg/mL となるよう 生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液で希釈。

禁忌 本剤(成分)に重度の過敏症の既往歴 プレオマイシンを投与中) **併禁** プレオマイシン プレオ

先	カドサイラ	100mg1 瓶 劇	235,108
	点滴静注用 100mg (中外)	6399425D1024 / 622264401	
先	"	160mg1 瓶 劇	373,945
	点滴静注用 160mg	6399425D2020 / 622264501	

6399i 抗 HER2 抗体チューブリン重合阻害剤複合体 トラスツズマブ エムタンシン(遺伝子組換え)

適応 HER2 陽性の手術不能又は再発乳癌。

注) トラスツズマブ(遺伝子組換え)及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による化学療法の治療歴のある患者に投与。

用法 1 回 3.6mg/kg,3 週間間隔で点滴静注。

注) 添付の 生理食塩液に溶解し 20mg/mL にした後,必要量を注射筒で抜き取り,生理食塩液 250mL に希釈。

禁忌 本剤(成分)・トラスツズマブ(遺伝子組換え)に過敏症(過敏症と鑑別困難で死亡につながるおそれのある重篤な Infusion reaction を含む)の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人

先	サビーン点滴静注用 500mg	500mg1 瓶 劇	45,593
	(キッセイ)	3929410D1022 / 622305701	

3929i アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出治療剤 デクスラソキサン

適応 アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤の血管外漏出。

用法 投与 1・2 日目は 1 日 1 回 1,000mg/m²,3 日目は 1 日 1 回 500mg/m²,1 ~ 2 時間かけて 3 日間連続静注。血管外漏出後 6 時間以内に可能な限り速やかに開始し,2・3 日目は 1 日目と同時刻に投与開始。上限は 1・2 日目 2,000mg,3 日目 1,000mg。中等度・高度の腎機能障害患者(クレアチニンクリアランス 40mL/分未満)は半量投与。

注) 1 瓶に注射用水 25mL を加え,20mg/mL として投与量算出。投与時は必要量を注射筒で抜き取り,500mL の 生理食塩液,乳酸リンゲル液又は 5%ブドウ糖注射液で希釈。

禁忌 本剤(成分)に過敏症の既往歴 妊婦・妊娠している可能性の婦人

先	ノボエイト静注用 250 (ノボ)	250 国際単位 静	23,197
		1 瓶(溶解液付)	6343440D1023 / 622333001
先	" 静注用 500	500 国際単位 静	43,018
		1 瓶(溶解液付)	6343440D2020 / 622333101
先	" 静注用 1000	1,000 国際単位 静	79,776
		1 瓶(溶解液付)	6343440D3026 / 622333201
先	" 静注用 1500	1,500 国際単位 静	114,491
		1 瓶(溶解液付)	6343440D4022 / 622333301
先	" 静注用 2000	2,000 国際単位 静	147,942
		1 瓶(溶解液付)	6343440D5029 / 622333401
先	" 静注用 3000	3,000 国際単位 静	212,319
		1 瓶(溶解液付)	6343440D6025 / 622333501

6343 遺伝子組換え型血液凝固第 因子製剤 ツロクトコグアルファ(遺伝子組換え)

適応 血液凝固第 因子欠乏患者における出血傾向の抑制。

[承認時資料による]

用法 添付溶解液全量で溶解。1 回 10 ~ 30 国際単位/kg,1 ~ 2mL/分で緩徐に静注。症状により適宜増減。定期投与の場合,20 ~ 40 国際単位/kg を隔日,又は 20 ~ 50 国際単位/kg を週 3 回,1 ~ 2mL/分で緩徐に静注。12 歳未満の小児は 25 ~ 50 国際単位/kg を隔日,又は 25 ~ 60 国際単位/kg を週 3 回,1 ~ 2mL/分で緩徐に静注。

保険料 針付注入器一体型のキットであるため,在宅自己注射指導管理料を算定する場合,注入器加算及び注入器用注射針加算は算定できない(平 26.4.17 保医発 0417 第 4 号)。